かすかべきょうどねりえ その25

~**倉常の神楽囃子~**

(6つね かぐらばやし えどじだい しょうとくねんかん ねん びょうき ばんざい いばらぎけんいなしき 倉常の神楽囃子は、江戸時代の正徳年間(1711~1716年)に病気がはやったとき、現在の茨城県稲敷しまは おおすぎじんじゃ かみさま むか えきびょうたいさん ねが はやし えんそう まつ おこな 市阿波というところにある大杉神社から神様を迎え、疫病退散を願って囃子を演奏し、祭りを行ったのがはじ はやし りゅうは えどばやしけい まつりばやし くらつね みなみ いち えのき はやし おな まいとし 始まりです。囃子の流派は江戸囃子系の祭囃子で、倉常の南に位置する榎の囃子と同じものです。(毎年 7 がつ にち ちか にちようび くらつねじんじゃ こうかい 月 24 日に近い日曜日に倉常神社にて公開)



なまえ	ねんれい	さい

がっこう ようちえん ほいくえん すん くみ 学校・幼稚園・保育園 年 組